

A  
中央会  
J山形中  
柴田さん(山形) V  
営農指導実践大会



最優秀賞に輝いた柴田さん(山形市で)

【山形】JA山形中央会は1月29、30日の両日、山形市のJA研修所でJA営農指導実践山形県大会と営農指導員の全体研修会を開いた。営農指導実践発表で、JA山形おきたま園芸南陽事務所調査役の柴田啓人(ひろとし)さん(41)が最優秀賞を獲得した。柴田さんは、11月に青森県で開催される北海道・東北ブロック大会に県代表として出場する。

営農指導員ら約80人が

参加した。柴田さんは「園芸事業における『おきたまブランドの確立と産地発展』のために」と題し、生産者手取りの最大化に向け、ブドウ「デラウェア」や西洋梨など主力品目の「おきたま統一共選」実現までの取り組みを発表した。JA内に園芸施設再編プロジェクトを立ち上げ、生産者の不安を払拭(ふっしょく)するため

に集落座談会などで統一共選の必要性や課題の改善策などを丁寧に説明し、熱意が最終的に若手生産者の理解に後押しされて合意形成が図られたことなどを紹介。その結果、品質の平準化や流通コスト削減などで「デラウェア」で広域合併以来の最高単価を確保したなどの成果を挙げた。審査委員長を務めた東北大学院農学研究科の角田毅教授は「発表内容が分かりやすく、熱意が伝わってきた。課題も明確で、営農指導の先進的な取り組み事例」と講評した。